

■地域と連携したプログラムの実施

様々な施設・団体との連携企画に取り組みました。5月6日に堺市都市緑化センターで開催されたチャノキイベントでは、森の茶葉を煮出した染液を用いて和紙染めの体験を行いました。8月2・11日は、南区で竹の有効活用をテーマに普及活動を行っているグループ「バンブーと遊ぼう」と一緒に、園内の竹を活用した「竹の水てっぽう作り」を実施しました。2日間分として用意した材料が初日になくなるほど、多くの方にご参加いただきました。9月13・14日には、堺市教育文化センターで開催された堺市理科展覧会において、ブース出展を行い当施設の概要やプログラム、保全の取り組みなどの紹介を行いました。ブースを見て頂いた方の中から、堺市の里山や豊かな自然に驚きの声があがり、堺の里山や当施設に関心をもっていただくことが出来ました。9月27日には、市内6施設の連携企画「堺キッズお茶マイスター認定講座」の一講座として「秋の里山で茶摘み体験」を開催しました。秋の茶摘みは初めての試みでしたが、森の茶畑での茶摘みと茶揉みを体験していただきました。参加者は柔らかい葉の感触と茶揉みの際に手に付いた匂いを楽しまれていました。



5月6日 和紙染め体験



8月2,11日 竹の水てっぽう作り



9月13,14日 堺市理科展覧会



9月27日 秋の里山で茶摘み体験

堺自然ふれあいの森では、FacebookとInstagramの2つのSNSを運用しています。季節の自然や生きものに加えて、保全活動やイベントのお知らせを発信しているので、ぜひフォローしてチェックしてください。



Facebook

Instagram



Instagramには生きものや保全活動を掲載しています♪



オリジナル ポストカードプレゼント

利用者アンケート記入でプレゼントします。詳細は森の館のスタッフにお尋ねください。

※グッズが無くなり次第終了となります。

堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～2月)

休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740
TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

バス 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ

車 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者(ふれあいの森パートナーズ)
ふれあいの森パートナーズは、(株)生態計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



堺自然ふれあいの森

ニューズレター 第51号

発行：令和7年12月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

■堺自然ふれあいの森の取り組みが、第45回緑の都市賞 緑の事業活動部門にて国土交通大臣賞を受賞しました。

公益財団法人都市緑化機構が主催する「緑の都市賞」の緑の事業活動部門にて、当施設の取り組みが国土交通大臣賞を受賞しました。

約20年にわたり産官学民連携による保全型の公園として「市民協働での里山保全」や「体験型の自然学習の実践」、また近年注力している近隣の大学生を筆頭とした新たな里山保全の担い手の育成やその仕組みづくりなど、南部丘陵全体の保全の先導モデルとして、里山と人との新たな関わり方を模索する社会実験の場を構築している事が評価されました。



里山保全ボランティア養成講座の様子



行政と指定管理者の意見交換



市民ボランティアの活動の様子



自然体験プログラムの様子



行政と企業の意見交換会



学生主催の里山保全体験プログラム

■ 周辺施設への生きものの生息地づくりに関する技術支援

近隣の学校に対して、生きものの生息地づくりやその維持管理に関する技術支援を行いました。昨年度より研究計画の指導や、実施方法などについての支援を行っている大阪府立泉北高校の校内の湿地ビオトープの再生を研究しているグループは、その研究の取り組みが校内の研究発表にて最優秀賞を受賞しました。地域の在来種の保全活動を行っている上神谷小学校では、調査や地域の自然環境についての授業や、校内ビオトープの調査のサポートを行いました。こひつじ保育園からは、園内のビオトープの管理についてご相談があり、池の環境改善を行いました。その後、園児と生きもの調査をした結果、トンボやアメンボの幼虫などの水生昆虫が観察でき、改善が有効であることがわかりました。

これからも生きものの生息地づくり支援を行うことで、地域全体での自然環境保全を進めていきます。

泉北高校

上神谷小学校

こひつじ保育園



校内ビオトープの整備の様子



堺市の生きものについて授業



生きもの調査の様子



研究が最優秀賞を受賞



校内ビオトープでの調査の様子



園内ビオトープの様子

■ 湿地の保全活動

生物多様性保全の取り組みの一つとして、湿地帯づくりやその維持活動を行いました。令和6年度より、当施設で活動しているジュニアレンジャーと共に新たに創出を開始した第二豊田川沿いの湿地帯で、池の拡張と生きもの調査を実施しました。その結果、オオシオカラトンボやヤブヤンマの幼虫、シュレーゲルアオガエルなどの水生生物を観察することができ、この湿地が水辺を必要とする生物にとって貴重な生息環境として機能していることが明らかになりました。



湿地の整備作業の様子



整備した湿地



シュレーゲルアオガエル

■ 来園者対応

自然体験プログラムや農作物の収穫体験などのプログラムを実施しました。野鳥観察のプログラムでは、春の森を歩き、ウグイスやシジウカラのさえずりを聞いたり、枝先にとまるメジロやヤマガラスの姿を観察しました。タマネギ掘りとコースター作りのプログラムでは、畑のタマネギの収穫体験や、森の中で木を切りコースターを作る体験をしました。

森の館内では、7月から9月にかけてバッタの大きさを競う「バッタリンピック」を開催しました。のべ250名の方に参加していただきました。一番大きい個体は94.0mmでした。バッタの計測を通して、バッタの生態や森の生きものについて来園者とお話をする良い機会となりました。



野鳥観察の様子



タマネギ掘り体験の様子



バッタリンピックの様子

■ 団体対応

4月～7月は小学校の郊外学習や幼保こども園の遠足で、多くのこども達が来園しました。小学校は森のクイズラリーや生きもの観察のプログラムが中心で、幼保こども園は、職員が季節の見どころをお話しながら歩くガイドウォークや生きもの観察のプログラムが中心となります。どちらも下見の際に要望を伺い、希望に応じたプログラムを提案しています。このほか、今年度は新たに北区の中学校から要望を受け、私たちの仕事についてお話する機会がありました。堺で唯一の里山を保全し、市民に伝える仕事について、実体験を交えながらお話をしました。



小学校の利用の様子



幼保こども園の利用の様子



中学校での出張講義の様子

■ 教員研修の実施

教職員・保育士を対象にした研修会を実施しました。小学校対象の研修会は3回実施しました。5月に実施した「アゲハの生態と飼育」では、アゲハの生体を用いながら生態や飼育法について解説しました。8月には、昆虫の捕まえ方や昆虫を調べる際に役立つ図鑑の使い方についての研修会と、木の実を使った工作についての研修会をそれぞれ実施しました。9月に実施した幼保こども園対象の研修会では、注意が必要な動植物の解説のほか、昆虫の捕まえ方や葉っぱを使った自然遊びについて実技を用いて解説しました。参加した先生からは、「2学期の虫とりで今日学んだことを活かしていきます」や「虫の取り方について多彩なアプローチを学びました。」などの感想が寄せられました。



教員研修会の様子1



教員研修会の様子2



保育士研修の様子